

中学部 数学科

1 段階 D データ活用

単元名：「表や棒グラフにして比べよう」

【テーマ：指導と評価の一体化】

Cさんの個別の指導目標（数学科2段階）

この資質・能力を育みたい！！

- ①棒グラフの目盛りを読み取り、項目ごとの数値を知ることができる。（知識及び技能）
- ②棒グラフから分かることを考え、言葉にすることができる。（思考力・判断力・表現力等）
- ③棒グラフの特徴に気付き、項目間の関係を考えようとする。（学びに向かう力、人間性等）

資質・能力を育むための指導のアイデア

構成

- ・様々な棒グラフ（横向き、大きい順番等）を提示する。
- ・より多くのデータを準備し、棒グラフに表す問題に取り組む。

ことば

- ・表やグラフからデータの特徴や傾向を捉えたり、考察することができるように発問をしていく。

教材

- ・表の良さ、グラフの良さが分かるデータを準備し、比較できる教材にする。

指導

- ・棒グラフを読み取るワークシートを準備する。



<支援者会議のあと・・・>

棒グラフを作成するワークシートに取り組むことによって、棒グラフへの理解が深まり、目盛りの数や見やすい方向について工夫して作成する姿が見られました。様々なデータを提示して、棒グラフや表の学習を行ったことで、データの「テーマ」によってはグラフを選んで作成することができるようになりました。

